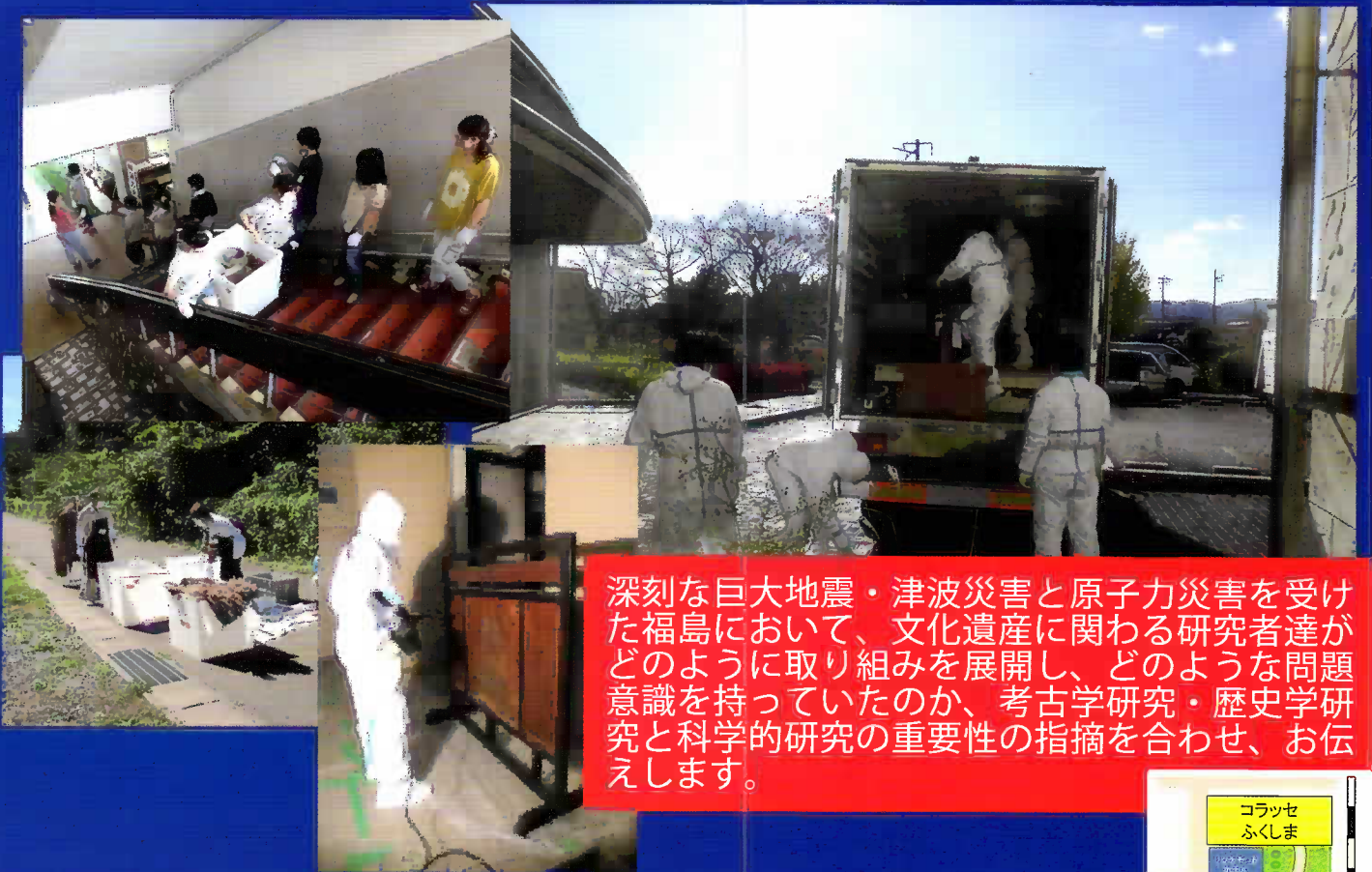


日本文化財科学会公開講演会シリーズ『文化遺産と科学』

文化財科学と自然災害

ふくしまの被災文化遺産の継承

2016年10月15日(土) 開場12時30分、開演13時、終了16時40分(予定)
福島県 福島市 福島駅前
コラッセふくしま 多目的ホール



深刻な巨大地震・津波災害と原子力災害を受けた福島において、文化遺産に関わる研究者達がどのように取り組みを展開し、どのような問題意識を持っていたのか、考古学研究・歴史学研究と科学的研究の重要性の指摘を合わせ、お伝えします。



【プログラム】

1. 福島県における被災文化財保護活動の現在
菊地 芳朗 (福島大学行政政策学類)
2. 放射線化学と文化財防災
佐野 千絵 (東京文化財研究所)
3. 福島県浜通り地方を中心とした文化遺産継承の取り組み
吉野 高光 (双葉町教育委員会)
4. 福島の津波堆積物—南相馬市小高川下流域を例として—
小倉 徹也 (大阪市博物館協会)

主催： 日本文化財科学会 後援： 福島大学 福島県立博物館

* プログラムの変更がある場合は、日本文化財科学会のHP (<http://www.jssscp.org/>) でお知らせ致します。